一般質問　議:議員／理:理事者

● まちづくり会館の職員のあり方について
● 廃校廃園による備品の管理や取り扱いについて

冨士根信子議員

議　まちづくり会館で働く会計年度任用職員は、地域住民との協働を円滑に行うためには情報や知識が必要である。地域住民と直接関わる職員はその地域住民が職員として採用されているならばそのほうが最適であり、防災においても住民の安全・安心なまちづくりにつながる。まちづくり会館の職員のあり方と地域住民との協働についてどのようにあるべきか伺う。

理　まちづくり会館職員の採用は、本庁等の会計年度任用職員と同一基準で行い、特定地域での勤務を前提とした採用や配置はしていない。職員の異動は適材適所や人材育成、組織の活性化に必要であり、地域や本人の成長の観点からも適切であると考える。一方で、地元を良く知る職員の配置は望ましい面があり、他地区在住の職員が複数配置されている現状を踏まえ、新年度の異動などで最低１人以上地元職員の配置を検討していく考えである。

議　今後南幼稚園の廃園や中学校の統廃合が予定されているが、多くの備品はどのように保管管理され、取り扱う予定であるか。卒業生や地域の方々から寄贈された備品について何か特別な対応を考えておられるか伺う。

理　幼稚園や中学校の備品は、市の財産管理規則に基づき備品台帳に登録し、適正に管理している。統廃合時には、新施設での使用、他の公共施設への譲渡、廃棄のいずれかに区分し、計画的に対応する。卒業生や地域の方々から寄贈された備品についても同様に台帳で管理しており、卒業生の記念品や銅像、記念碑等の廃校後の取り扱いについては、現在各中学校の同窓会や学校で話し合われている。これらの思い出の品は、卒業生や同窓会などの意向を尊重しながら対応を検討していく。

一般質問　議:議員／理:理事者

● 雪対策について
● 中高生が集まってコミュニケーションを取れる場所について

市政会　石垣智史議員

議　長山町の消防署横、市道6－81号線では除雪作業が遅く、生活道路の安全確保が課題である。特に消防署隣接のため、緊急車両の通行を確保する消雪装置の設置が必要ではないだろうか。市としての考えを伺う。また町中では水路の水が流れず、屋根雪下ろし業者や緊急車両が通行困難になる状況がある。この問題に対し、市として具体的な対応策や今後の計画を示されたい。

理　市では、除雪機械による除雪を基本とし、幅員が狭く雪押し場が確保できない場合で水量が確保できる場合には、消雪装置で対応している。市道6－81号線は幅員4.5m以上で除雪機械が作業可能なため、機械除雪を行っている。積雪の状況、道路の混雑度、雪押し場の状況により作業スピードは変わるが、道路交通の確保を目的として作業を行っている。水路については水の使用の実態や地域の同意など課題が多いが、狭小路線や水路のない地域の除雪活動を支援するため、除雪機械の貸与など自助・共助を支援する各種制度を実施している。市民が冬期間も安心して生活できる施策を実施していく。

議　福井市に比べ勝山市では中高生が気軽に集まり交流できる場が少ないとの声がある。市として、交流スペースの整備や地域住民・民間企業との連携による新たな施設設置の考えを伺う。

理　市では教育会館の改修計画にあたり、10月にスクールミーティングと題し市内の中高生から、若者視点での意見を伺った。その中には「若者が行く場所がない」との声も多くいただいた。教育会館、中央公園の一体的改修を1年先送りして、中高生を含む市民からの意見をお聞きし、市内事業者、地域、団体等の協力をいただきながら中高生の居場所づくりに努めていく。